

安全防災部

コミわか安全防災部の平成25年度一年を振り返ってみたいと思います。

安全防災部3部会の事業は、どの部会の事業も非常に地味な事業です。訓練、研修、講演又、パトロール、予防運動となかなか成果が目に見えない事業ばかりです。そのような中で部会の役員さん、部会員の皆さんに一生懸命業務に携わっていただき、結果として、概ね目標とした成果が達成できたのではないかと考えています。

今年度は部会の事業とは別に、防災部門の強化策について検討しました。前々から防災部会の位置付け、部会の体制等について、現状で緊急時に対応できるのか等の疑問があり、防災部門の強化策を検討し、一定の方向付けをしました。主たる改善点は二点あります。機構見直しでは、若槻地区自主防災会連絡協議会（自防連）の組織を区長部に帰属という形でコミわか組織図に明記します。防災部会も区長部に組み入れて、コミわか防災部門の中核と位置付けます。又、防災部会の体制を、各区自主防災会から選出された委員、各区防災指導員、消防若槻分団から推薦された団員経験者、そして公募委員を加えて総勢25名程の体制として、部会を強化することとしました。

安全防災部も平成26年度から、機構の見直しにより、現在の3部会から防災部会が抜けて、防犯部会・交通安全部会の2部会とし、部の名称も「生活安全部」に変更して再出発する予定です。今後とも地区の皆様の更なるご理解とご支援ご協力を切にお願いする次第です。

(安全防災部長 荒木 邦夫)



救命講座（親子防災教室）

自然環境部 ～目を向けよう若槻の自然、気をつけよう地域の環境～

自然環境部には二つの部会があります。今年の活動には特記すべきことが三つありました。

一つは環境部会の関係で、三登山産廃処理場問題です。

毎年2回実施してきた処理場の現地視察が不可となった代わりに田子の地蔵院で「地元説明会」を開催しました。市から経緯、現状の説明と地元の皆さんの意見や質問を伺いました。

地元の心配と疑念の思いを受けて長野市に質問状、要望書も出しました。



ホタルウイーク開幕セレモニー

二つ目は自然活用部会のホタルの取り組みです。

自然環境保護の啓蒙、ホタル生息環境の保護保全を基調としたコミわか挙げての事業にするため実行委員会を結成し名称を「ホタルウイーク」としました。多くの来場者から感激と感謝の声をかけていただきスタッフ一同ホタルの魅力の偉大さを実感しました。

三つめも自然活用部会。若槻自然遺産の取り組みは長野ケーブルテレビで紹介されました。

この一年、部会長を中心に三役、部会員の皆さんに支えられて各事業はほぼ予定どおり進みました。皆様のご理解とご尽力に感謝申し上げます。

(自然環境部長 大村道雄)